

1 基本項目	事務事業名	文化財管理事業			担当 部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財管理事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和38年	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	款	教育費
	政策名	10 明日を担う人づくり				項目	項	社会教育費
	施策名	33 文化の振興				目	目	文化費
基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の管理。文化財保護審議会及び博物館協議会の開催。
	対象	市内の文化財。
	手段 (活動指標)	文化財保護審議会及び博物館協議会の開催及び未指定文化財の調査を実施し、文化財の保存や活用を図る。また博物館のより良い運営形態を図る。
意 (成果指標)	未指定文化財の調査や、文化財の状況を随時確認することで、文化財の劣化や破壊を防ぎ、後世に残すことができる。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標	① 文化財保護審議会、博物館協議会の開催	件	2	2	2	2	100.0%	2
	②							
	③							
成果 指標	① 文化財調査件数	件	1	1	1	1	100.0%	1
	② 新たな指定文化財件数	件	0	0	0	0		0
	③ 適切な管理下にある指定文化財	件	54	54	54	54	100.0%	54

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	355,000	276,243	264,000	147,749	-46.5%	348,000
	② 委託料	円	390,000	247,000	500,000	426,280	72.6%	530,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	321,000	221,680	218,840	82,380	-62.8%	301,000
	支出合計 (A)	円	1,066,000	744,923	982,840	656,409	-11.9%	1,179,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,066,000	744,923	982,840	656,409	-11.9%	1,179,000
	収入合計	円	1,066,000	744,923	982,840	656,409	-11.9%	1,179,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	300	460	220	360	-21.7%	360
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,260,000	1,932,000	924,000	1,512,000	-21.7%	1,512,000
	総費用 (A+B)	円	2,326,000	2,676,923	1,906,840	2,168,409	-19.0%	2,691,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	文化財保護審議会、博物館協議会を各1回開催。 県指定史跡である松倉城跡の草刈りを2回実施。 市指定史跡である升方城跡の誘導看板を製作設置。 全国山城サミット米原大会へ出席。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	地域の歴史や文化の保存・継承のために必要な事業である。
対象の妥当性					1 妥当である	市内の文化財を対象としているので妥当である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	適正な管理のもと文化財を保存できている。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局に同じような事務事業は存在しない。
				上位施策への貢献度	2 普通	地域の伝統文化の保存・継承に大きな役割を担う。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	文化財を管理するために必要最低限の予算である。
				実施主体の適正化	1 適正である	文化財を管理するのは市である。
				負担割合の適正化	1 適正である	地元を除草などを委託しながら、事業を行っている。
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後の 評価 結果 (課長 及び 評価 結果 及び 今 後 の 方 針)	文化財保護審議会及び博物館協議会で出された意見等に基づき、文化財の管理や博物館等の運営の改善に努める必要がある。			評価 結果	

1 基本項目	事務事業名	文化財保護団体育成事業			担当 部署 署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保護団体育成事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	款	教育費
	政策名	10 明日を担う人づくり				項目	社会教育費	
	施策名	33 文化の振興				目	文化費	
基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	指定無形民俗文化財の保存団体の実施する事業について、魚津市より補助金を交付し、文化財の保存・継承に必要な活動や魚津の歴史を研究する歴史同好会の活動について支援する。
	対象	指定無形民俗文化財保存団体。
	手段 (活動指標)	各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。
意図 (成果指標)	保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 指定無形民俗文化財保護団体の維持	件	4	4	4	4	100.0%	4
	②							
	③							
成果指標	① 保存・継承されている無形民俗文化財の数	件	4	4	4	4	100.0%	4
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	5,000	5,000				
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	250,000	250,000	230,000	230,000	-8.0%	760,000
	⑤その他	円	35,000	7,000	49,000	44,240	532.0%	353,000
	支出合計 (A)	円	290,000	262,000	279,000	274,240	4.7%	1,113,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	290,000	262,000	279,000	274,240	4.7%	1,113,000
	収入合計	円	290,000	262,000	279,000	274,240	4.7%	1,113,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	60	220	220	240	9.1%	240
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	252,000	924,000	924,000	1,008,000	9.1%	1,008,000
	総費用 (A+B)	円	542,000	1,186,000	1,203,000	1,282,240	8.1%	2,121,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市指定の無形民俗文化財保持団体への事業補助。 全国山・鈴・屋台保存連合会総会へ出席。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	地域の歴史や文化を保存・継承するために必要な事業である。
対象の妥当性					1 妥当である	地域の歴史や文化を保存・継承する団体を対象としており妥当である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	無形文化財を継承することができている。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局に同じような事務事業はない。
				上位施策への貢献度	2 普通	地域の歴史や文化の保存・継承に貢献している。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	必要最低限の予算である。
				実施主体の適正化	1 適正である	指定無形民俗文化財の保存団体に対して補助金を交付している。
				負担割合の適正化	1 適正である	保存団体の自己資金を活用しながら、市の補助金を含めて、文化財を保存・継承している。
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後の評価 (課題及び今後の方針)	文化財保存団体も高齢化の進展により、活動の維持が難しくなっており、今後も継続して補助していく必要がある。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	文化財保存事業			担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			款	教育費	
	政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
	施策名	33 文化の振興				目	文化費	
基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を行うために協力している。
	対象	市内の文化財。
	手段(活動指標)	市内の文化財の保存・活用のために整備を行うとともに、伝統的な祭りの継承に努める。
意図(成果指標)	市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	5	3	3	3	100.0%	3
	②							
	③							
成果指標	① <small>市民意識調査満足度・郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである。</small>	%	42.0	56.2	50.0	53.7	107.4%	50.0
	② たてもん協力隊参加者数	人	320	308	320	310	96.9%	310
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	1,375,000	1,317,610	447,680	424,640	-67.8%	1,040,000
	②委託料	円	1,199,000	999,000	3,044,320	3,044,320	204.7%	
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	1,097,000	1,097,000	574,000	324,000	-70.5%	360,000
	⑤その他	円	266,000	149,560	283,000	214,988	43.7%	1,435,000
	支出合計(A)	円	3,937,000	3,563,170	4,349,000	4,007,948	12.5%	2,835,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円			1,500,000	1,520,000		716,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	3,937,000	3,563,170	2,849,000	2,487,948	-30.2%	2,119,000
	収入合計	円	3,937,000	3,563,170	4,349,000	4,007,948	12.5%	2,835,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	960	700	700	600	-14.3%	600
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	4,032,000	2,940,000	2,940,000	2,520,000	-14.3%	2,520,000
	総費用(A+B)	円	7,969,000	6,503,170	7,289,000	6,527,948	0.4%	5,355,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	旧沢崎家住宅の修繕。金山谷自治会に木造阿弥陀如来立像収蔵施設改修事業補助金を交付。ユネスコ無形文化遺産登録に向けて、タテモン行事のPR用DVDを作成した。 また、たてもん協力隊を広く募集。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	地域の歴史や文化の保存・継承のためには、必要な事業である。
対象の妥当性					1 妥当である	市内の文化財を対象としており妥当である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	文化財を保存するために成果を得られている。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局に同じような事務事業はない。
				上位施策への貢献度	2 普通	地域文化が保存・継承されることで市民が、郷土の伝統や文化に愛着を持つことができる。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	たてもん協力隊を募るなど少ないコストで事業実施を行うようにしている。
				実施主体の適正化	1 適正である	文化財の保存・継承は市の事業である。
				負担割合の適正化	1 適正である	県の補助を受けながら事業実施している。
	1次評価(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)	国・県・市指定文化財や今後、保存すべき文化遺産に対して、現状把握を行い、保存・整備・活用について、検討する必要がある。 国が「魚津のタテモン行事」を含む「山・鉾・屋台行事」についてH28年度にユネスコ無形文化遺産登録を目指すことになったことから、今後のPRが求められている。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館市史刊行・普及事業			担当 部署 署	課名	図書館	
	予算事業名	市史刊行・普及事業				係名	市史編纂室	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度		平成30年度	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				款	教育費	
	政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
	施策名	33 文化の振興				目	市史編纂費	
基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市史自然編の編纂、刊行
	対象	市民及び魚津の自然に関心がある市民以外の方。魚津市の自然。
	手段 (活動指標)	①原稿の進捗状況 ②市史編纂委員会の開催
	意図 (成果指標)	市史自然編を通して、市民の魚津の自然に対する関心が高まると共に魚津の自然に誇りを持つようになる。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 原稿依頼数	件	0	0	0	0		100
	② 市史編纂委員会の開催回数	回	0	0	2	2	100.0%	3
	③							
	① 原稿回収率	%	0	0	0	0		50
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	143,000	98,096	113,000	103,827	5.8%	111,000
	②委託料	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,500,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円			4,000			8,000
	⑤その他	円	308,000	225,942	511,000	505,127	123.6%	809,000
	支出合計 (A)	円	2,951,000	2,824,038	3,128,000	3,108,954	10.1%	3,428,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円	140,000	55,545	70,000	49,500	-10.9%	35,000
	⑤一般財源	円	2,811,000	2,768,493	3,093,000	3,059,454	10.5%	3,393,000
	収入合計	円	2,951,000	2,824,038	3,163,000	3,108,954	10.1%	3,428,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	1	-66.7%	2
	②年間所要時間	時間	200	200	200	200	0.0%	1,800
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840,000	840,000	840,000	840,000	0.0%	7,560,000
	総費用 (A+B)	円	3,791,000	3,664,038	3,968,000	3,948,954	7.8%	10,988,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市史編纂委員会編纂委員を新たに委嘱し、市史編纂委員会を2回開催した。その中で、大筋のスケジュールや掲載内容等について検討した。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	【選択してください】	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市史は、研究者の自己責任で書いた書籍と異なり、内容に公共性が求められるため。	
目的の妥当性				1 妥当である	市民の教育、学術及び文化に寄与するため。		
対象の妥当性				1 妥当である	魚津市民や魚津市の自然に関心のある方、そして魚津市の自然そのものを対象にしているため。		
有効性	【選択してください】	B	目標達成度	2 目標どおり	計画通りに進んでいる。		
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同様の事業はない。		
			上位施策への貢献度	2 普通	高くも低くもない。		
効率性	【選択してください】	A	コスト効率	1 高い	作業の多くを市職員で対応しているため、コスト効率は高い。		
			実施主体の適正化	1 適正である	自治体で行うことが適正である。		
			負担割合の適正化	1 適正である	市が作成しているため。		
1次評価 (課長総括)	【選択してください】	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
後(課題及び今後の方針)	平成27年度は、執筆者を決め、原稿を依頼するまでに至らなかった。平成28年度、早々に執筆者を決め、原稿依頼をする必要がある。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	市史編纂動物調査事業			担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	市史編纂動物調査事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度		平成28年度	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			款	1. 水族館費	
	画	政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	2. 水族館費	
	根	施策名	33 文化の振興			目	1. 水族館管理費	
拠	基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
法	法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	魚津市史自然編編集の基礎データを蓄積するため、市内の生物に関する調査を行う。
	対象	魚津市内の生物全般
	手段(活動指標)	野外調査、資料(文献・書籍等)の情報収集
	意(成果指標)	魚津市史自然編の発刊に必要な情報や資料を、野外調査や情報収集によって集積する。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 野外調査日数	日	50	30	30	30	100.0%	30	
	②								
	③								
	成果指標	① 調査による情報収集率	%	53	50	100	100	100.0%	100
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	150,000	99,036	193,000	72,485	-26.8%	181,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円			100,000	45,144		
	支出合計(A)	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	300	900	900	900	0.0%	900
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,260,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000	0.0%	3,780,000
	総費用(A+B)	円	1,410,000	3,879,036	4,073,000	3,897,629	0.5%	3,961,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○魚津市内の生物調査	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市史編纂のための市内生物調査であるため
対象の妥当性					1 妥当である	生物データの蓄積につながっている
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない
				上位施策への貢献度	1 高い	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
効率性	効率性	A	B	コスト効率	2 普通	効率は普通である
				実施主体の適正化	1 適正である	調査を行うことでデータの蓄積につながっている
				負担割合の適正化	1 適正である	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の評価結果)	市史自然誌編は、魚津市の水循環が育む自然のバイブルとなるもので、その作成とともに、活用を考えていく必要がある。市史の作成に伴い集めたデータを基に、展示にも生かしていきたい。平成28年度からは執筆が始まるが、27年度の事業停滞により、平成29年度での完成が危惧される。			評価結果	